

入所者の地域復帰を支援するには？

	地域復帰支援の手立て	具体的方法
1	逆デイをする	デイサービスは、朝、デイサービスセンターへ行き、夕方自宅に戻る。逆デイは、普段は老人ホームに住んでいて、朝、地域に出向いて住民とふれあい、夕方ホームへ戻る。大事なことは本人が住んでいた地元へ戻ること。自宅に近い老人ホームに入所することが条件になる。
2	ご近所密着型老人ホーム（地域密着は市町村から入所。ご近所密着はもっと小さい圏域から入所）	自宅から近い老人ホームに入所すれば、里帰りも容易だし、友人、知人も遊びに来る、家族も日常的に訪れる。自宅の離れに住んでいるのと変わりがなくなる。
3	里帰りを応援	最近、老人ホームからときどき里帰りするというやり方が普及し始めた。実家がある間はこれが可能だが、実家がなくなると、友人宅やサロンなどへの里帰りとなる。
4	老人ホームと自宅を交代で	例えば1ヶ月交代で老人ホームと自宅が引き受けるという方法も広がり始めた。自宅もまた「老人ホーム」の1つなのだという発想である。
5	「地域老人ホーム」を住民の手で	老人ホームに入所するまでもなく、自宅が居室、地域全体が1つの老人ホームという考え方もある。住民とプロが提携して介護職員の代わりに務める。
6	地域のグループへの参加支援	時々地域のサロンや趣味グループなどに参加できるようにする。
7	ずばり自宅復帰を支援	家族がこれを受け入れるか。地域がどこまで支えられるかが問題。